



各 位

2026年10月30日

会社名 TDK株式会社
代表者 代表取締役社長執行役員CEO 齋藤 昇
(コード番号 6762 東証プライム)
問合せ先 広報グループ
デピュティゼネラルマネージャー
大須賀 陽一 (TEL 03-6778-1055)

指名委員会等設置会社への移行に関するお知らせ

TDK株式会社（以下、「当社」）は、2026年10月30日開催の取締役会において、2027年6月開催予定の第131回定時株主総会において承認されることを条件として、現在の監査役会設置会社から指名委員会等設置会社へ移行することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 移行の目的

当社は、社是「創造によって文化、産業に貢献する」と社訓「夢 勇気 信頼」のもと、10年後のありたい姿として長期ビジョン「TDK Transformation」を策定し、長期ビジョンからバックキャストして作成した2025年3月期を初年度とする3か年の中期経営計画を推進しております。

これまで当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するため、コーポレート・ガバナンスの充実に継続的に取り組んでまいりました。このたび、成長のさらなる加速に向けて、ガバナンスにおけるTransformationとして、現在の監査役会設置会社から指名委員会等設置会社へ移行することを決定いたしました。

急激に変化するグローバルな事業環境下において、ステークホルダーの皆様からの期待に応えるためには、経営の透明性および客観性を一段と高めるとともに、迅速な意思決定と業務執行を実現することが不可欠です。そのため、本移行により監督と執行の分離を明確にし、取締役会を中長期経営に関する議論の場である「より実効性の高いモニタリングボード」へと進化させるべく、以下の2つのコンセプトのもとで本移行を進めてまいります。

（1）コーポレート・ガバナンスの強化 ～「より実効性の高いモニタリングボード」への進化～

当社はこれまで、役員の指名・報酬に関する任意の諮問委員会を設置し、経営の透明性および客観性の向上に努めてまいりました。本移行後は、法定の3委員会（指名委員会、監査委員会および報酬委員会）がそれぞれの役割を果たすことにより、監督機能を強化し、経営の透明性および客観性をより一層高めます。加えて、取締役会は、業務執行の監督と中長期的な経営戦略の議論に重点を置き、モニタリングボードとしての実効性を高めてまいります。

（2）執行体制の強化 ～長期ビジョンの実現を加速する経営体制の構築～

指名委員会等設置会社への移行により、取締役会から執行役への大幅な権限委譲を進めることで、執行役が自律的かつ迅速に意思決定を行う経営体制を構築いたします。新体制では、CEOを中心に、各領域の担当執行役（CxO）が責任を担う強靱な経営チームが、経営の機動性と実行力を高めることで、企業価値の向上を牽引してまいります。

2. 移行の時期

2027年6月開催予定の第131回定時株主総会において、必要な定款変更についてご承認いただき、指名委員会等設置会社へ移行する予定です。定款変更案および移行後の役員体制等については、今後決定次第お知らせいたします。

以 上